

令和3年度 一般会計当初予算 108億6,800万円 (前年比+5億3,800万円 +5.2%)

●当初予算の特徴

- (1)新型コロナの影響による大幅な税収減のなか、国の交付金等を活用して必要な事業を行う積極型の15ヶ月予算
- (2)コロナ収束後を視野にデジタル化、グリーン社会、地方分散化など新たな課題に対応
- (3)地方創生まち・ひと・くらし戦略により子育て教育、経済産業、観光交流、健康活力、関係定着の5分野を展開
- (4)事務事業の見直しを行うとともに、事業レビューや各委員会における町民との対話の成果を実現

●主な新規事業等

1 新型コロナ感染拡大防止と経済対策

・感染拡大防止と町内経済を再生し町民生活を守る

2 まちを創る

・町民との対話により、今ある公共施設を再生し長寿命化する

3ひとを育てる

・コロナ禍で人の関係性が見直される中、地域でひとをつくり、育てる

4くらしを充たす

・町民が明日も同じように暮らし続けられるよう、コロナ後の新たな生活をつくる

(1) コロナ感染拡大防止

- ①新型コロナウイルスワクチンの接種 ※
- ②感染対策用品の配備

(2) 地域経済の再生と町民生活支援

- ①第2弾持続化給付金 ※
- ②商工業者特別金融支援利子補給
- ③肉用牛肥育経営安定特別対策
- ④国民健康保険税率の据置き
- ⑤介護保険料の引下げ

(3) デジタル化の推進

- ①デジタル教科書の拡充
- ②役場業務のデジタル化の推進
(窓口支払キャッシュレス化、文書電子決裁 A I 会議録、R P A の導入)

(4) 地方分散で移住促進

- ①関係人口の創出
(ふるさと住民票の交付、若者むらび交流会)
- ②ワーケーションの推進
(都市の若者とのマッチング、お試しワーケーション)
- ③オフィス移転の支援、移住定住への補助

(1) 公共施設のリノベーション

- ①東伯総合公園のPFI方式による改修・運営
- ②東伯総合公園の芝改修
- ③まなびタウンリニューアル
- ④道の駅琴の浦観光拠点化 ※
- ⑤ふなのえこども園・
成美地区公民館建設基本設計
- ⑥浦安地区公民館移転改修設計

(2) 地域活動と文化の振興

- ①公民館のまちづくりセンター(仮称)に向けた取組
- ②文化芸術振興のあり方検討

(3) 力強い農業づくり

- ①スマート農業の推進
- ②もうかる6次化・農商工連携支援
- ③畜産・酪農収益力強化整備等特別対策

(4) 総合計画及び過疎計画の策定

(1) 教育課題への対応

- ①学校給食の公会計化
- ②コミュニティスクールの導入
- ③授業改善等の各校の特色を活かした学校独自予算

(2) ICTと英語の重視

- ①デジタル教科書の拡充 再掲
- ②小学校へのA L T 配置
- ③中学生の米国シアトル派遣事前調査

(3) 図書教育・活動の充実

- ①まなびタウンリニューアル 再掲
- ②小学校図書館司書の全校配置
- ③こども園への図書費新設

(4) 子ども・子育て支援

- ①八橋放課後児童クラブ教室の増設 ※
- ②乳幼児家庭保育支援給付金の拡充
- ③不妊・不育治療への助成

(5) 企業版ふるさと納税で熱中小学校運営

(6) 地域活性化センターとの連携による

3町職員研修

(1) 地域発SDGs

- ①ゴミの減量化に向けた調査・分析
- ②ゴミリサイクルを考える自分ごと化会議
- ③SDGs推進講演会とプラスチックリサイクル

(2) 地域内で経済を回す

- ①ことうらバイ・ローカル運動
- ②飲食店と生産者をつなぐマッチング
- ③琴浦でスタート！ 応援補助

(3) コロナ後に備える観光

- ①道の駅琴の浦観光拠点化 再掲
- ②コロナ観光産業化プロジェクトの推進

(4) 健康づくりと地域福祉

- ①産官学連携による健康寿命延伸コンソーシアム
- ②地域福祉計画の策定

(番外) 若手職員チームによる事業提案

- ①惑星コトウラファイル(町民参加による町自慢図鑑)
- ②惑星コトウラ衛星探検(県外学生とのネットワーク)

※は令和3年2・3月補正予算分